

これまでの審議会等での委員意見

【これまで会議等であがった意見数】

会議等	意見数
習志野市教育委員会	4
習志野市社会教育委員会議	18
習志野市公民館運営審議会	22
習志野市文化財審議会	9
庁内意見照会(職員対象)	128

(1) 審議会による主な意見等

1) 社会教育委員会議（令和2年7月29日）

社会教育委員からの主な意見		取組 NO. など		計画案：修正前	計画案：修正後	備考
1	<p>*外国人との文化交流について 取組 NO. 10 「外国人が日本文化を体験できる」とあるが、日本文化に限定せず、他国の文化も取り入れた方が良くはないか。 また、日本人が外国文化を体験することも加えた方が良い。</p>	方向性1 文化に触れる	取組 NO. 10	<p>(取り組み名) 外国人が日本文化を体験できる機会の充実</p> <p>(概要) 外国人が市民・文化団体との交流を通じて、日本文化を体験できる講座やイベントを実施する国際交流協会に対して支援します。</p>	<p>(取り組み名) ⇒多文化交流ができる機会の充実</p> <p>(概要) ⇒外国人と日本人が交流を通じて、相互の文化を理解し体験できる取り組みをする習志野市国際交流協会を支援します。</p>	国際交流では相互に文化を理解することが大切であり、実際そのような取り組みを国際交流協会は実施しているので、そのような記載とする。
2	<p>*若い世代の活動参加について 青少年に関わる活動をしているが、団体メンバーが少なくなってきた。子ども達のために、もっと活動をしたと思うので、メンバーが増えればよい。</p>				特に修正はなし。	アンケート結果にもあるが、若い世代は忙しくてなかなか活動することができていない。課題だと捉えている。
3	<p>*「つくる」について 『触れる』、『見る』、『聴く』という言葉が使用されているが、『つくる』という文言が出てこないことに違和感を覚える。特に公民館や社会教育関係団体にとって、何かを「つくる」ことは大きな意味がある。 『新しい文化をつくる』という意味もあるが、『つくる』があった方が良くはないか。</p>		方向性2 文化をつなぐ	施策1	<p>(施策1) 誰もが文化に触れる機会の創出</p>	<p>(施策1) 誰もが文化に触れ、つくる機会の創出</p>
	取組 NO. 19	<p>(取り組み名) 文化芸術鑑賞・体験・発表等の機会の提供</p> <p>(概要) 小・中学校において、質の良い音楽を鑑賞する機会を提供します。また、総合教育展や文集の発行など、文化芸術を鑑賞・体験・発表できる機会を提供します。</p>		<p>(取り組み名) ⇒文化芸術鑑賞・制作・発表などの機会の提供</p> <p>(概要) ⇒小・中学校において、質の良い音楽を鑑賞する機会を提供します。また、総合教育展や文集の発行など、文化芸術を鑑賞・制作・発表できる機会を提供します。</p>		

	社会教育委員からの主な意見	取組 NO. など	計画案：修正前	計画案：修正後	備考
4	<p>*子ども達が伝統文化に触れる機会について</p> <p>1) 実花公民館で小学生向けにお囃子講座があり、地域のお祭りにも参加する。中学生も参加し活気づいている。他公民館でもこのような取り組みをもっと行ってはどうか。</p> <p>2) 学校での文化芸術活動について、中高生になると自分の興味がないものはシャットアウトしてしまう。子ども達がとりかかれるようアニメ等子供たちの身近なものを取り入れ、工夫が出来れば良い。大久保小学校の和太鼓のように運動会の種目、音楽会等学校行事に取り入れてはどうか。</p> <p>3) 船橋市に「バカ面踊り」があり、習志野市にもあることに驚いた。学校ではバカ面踊りの振り付けを覚えて練習している。今後は、練習だけでなくお面作ったり、地域の高齢者に踊りを見てもらい一緒に踊ったり等、横断的に広げていくことになる。その場合学校でできないところは支えてほしい。</p>	<p>方向性2 文化をつなぐ</p>		<p>特に修正はなし。 (具体的な取り組みの中で検討する。)</p>	<p>伝統文化に触れる機会があまりないので、子ども達の身近なところから取り入れられるよう、各々の取り組みの中で検討する。</p> <p>※「バカ面踊り」の発祥は、習志野市鷺沼と言われている。</p>
5	<p>*地域を活性化させるイベントやまつりについて</p> <p>例えば、商業施設などで、浴衣の着付の仕方を子ども達に教え、地域のおまつりにつなげるような取り組みをしてはどうか</p>	<p>方向性3 文化を活かす</p>	<p>取組 NO. 4 4</p>	<p>特に修正はなし。 (具体的な取り組みの中で検討する。)</p>	

2) 公民館運営審議会（令和2年7月28日） 及び 文化財審議会（令和2年8月27日）

	審議会委員からの主な意見	取組 NO. など	計画案：修正前	計画案：修正後	備考
6 (公民館運営審議会)	<p>* 指標の設定について</p> <p>コロナ禍による自粛期間があるため、評価指標は柔軟に対応した方が良い。社会の影響等を受けやすいので、達成しやすい指標の設定が必要。 例えば「活動した人」でなく「活動したい人」としてはどうか。</p>	<p>P 2 1 方向性 1</p> <p>P 2 7 方向性 2</p>	<p>方向性 1：文化に触れる (評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を鑑賞した市民の割合 現状 84. 8%、目標値 90% 文化芸術活動をした市民の割合 現状 23. 5%、目標値 30% <p>方向性 2：文化をつなぐ (評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を鑑賞した小中高生の割合 現状 93. 1%、目標値 98% 文化芸術活動をした小中高生の割合 現状 56. 0%、目標値 63% 	<p>方向性 1：文化に触れる (評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を鑑賞した市民の割合 現状 84. 8%、目標値 86% 文化芸術活動をした市民の割合 現状 23. 5%、目標値 25% <p>方向性 2：文化をつなぐ (評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を鑑賞した小中高生の割合 現状 93. 1%、目標値 95% 文化芸術活動をした小中高生の割合 現状 56. 0%、目標値 58% 	<p>達成しやすい指標の設定として、コロナ禍ということもあり目標値を見直す。 なお、今回のアンケート結果から、活動したくても各々の事情でできない市民がある一定の割合でいるため、「活動したくてもできない」人の割合を下げたい。評価項目は変更しない。</p>
7 (公民館運営審議会)	<p>* 文化財等の展示について（文化財の活用）</p> <p>1) 文化財を誰もが見られるスペースがない。有形・無形の文化財を守っていかなければならない。コロナ禍でも文化を守る取組をして欲しい。</p> <p>2) 文化財の展示について記述がない。文化財をプラッツ等に展示して見られるようにしてはどうか。</p> <p>3) 文化財の認知度向上のため、発掘された地区の公民館で文化財を展示する取り組みは出来ないか。併せて説明員にカレッジ卒業生などを活用する。市民の地域への愛着にもつながる。</p>	<p>施策 2 小施策 (1)</p> <p>取組 NO. 3 7</p>	<p>小施策 (1) 文化的な資源の周知</p> <p>(取り組み名) 文化的な資源の情報発信</p>	<p>小施策 (1) 文化財等 文化的な資源の周知</p> <p>(取り組み名) 文化財等 文化的な資源の情報発信の充実</p>	<p>文化財の常設展示は、市役所 1階スペースや総合教育センターの一部などで実施しているが、公民館やプラッツ等の施設を利用した臨時的な展示に努める。</p> <p>また、各公民館での展示では、カレッジ卒業生を活用して取り組めるか検討する。</p>
8 (公運審)	<p>* 公民館が社会教育の相談窓口であることについて</p> <p>学校教育で、公民館に落語の講師探しをしてもらったことがある。ネットワークの強さを活かしてもらいたい。</p>	<p>方向性 3 文化を活かす</p>		<p>特に修正はなし。</p>	<p>公民館は文化の拠点であり、地域の人材をよく知っているのが相談窓口である。特に計画上で記載はないが、地域と学校を結び、地域の文化を担う担当をしていると考えている。</p>
9 (文化財審議会)	<p>* 市の特徴と文化ホールの活用について</p> <p>「方向性 3：文化を活かす」で、音楽や公民館等とあるが、市の特徴をもっと打ち出すと良い。 文化ホールの活用をもっとすすめていくとか、パイプオルガンは建設当時全国でも珍しかったはずであるので、もっと活用されると良いと思う。 「音楽のまち」は推進して欲しい。学校の音楽部活動の全国優勝とホールは無関係ではないはずである。</p>			<p>特に修正はなし。</p>	<p>「音楽のまち」は市の特徴として捉え計画の中に入れていく。 施策 1「音楽のまち習志野の推進」小施策 3「『音楽のまち』を象徴する習志野文化ホールの充実」</p>
10 文化財審議会	<p>* 文化財と高齢者福祉との連携について</p> <p>文化財の民具の活用として、次世代に伝えるだけでなく、博福連携と言って、高齢者福祉分野に活用することも出来る。回想法といって昔のものを高齢者に見せることで懐かしいという感情を思い起させ認知症予防に役立てる取り組みがある。</p>	<p>取組 NO. 3 取組 NO. 3 6</p>		<p>特に修正はなし。 (具体的な取り組みの中で検討する。)</p>	<p>「NO. 3. 高齢者を対象とする～」と「NO. 3 6. 教育等と連携した文化的な資源の活用」の中で、高齢者支援課と連携し、また公民館講座の中で、実施可能か検討する。</p>

(2) 庁内照会による他部署からの主な意見等

他部署からの主な意見		取組 NO. など	計画案：修正前	計画案：修正後	備考
1	<p>*文化ホールについて</p> <p>NO. 3 5 「音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備」とあるが、所管は「総合政策課」だけでよいのか。ハード面だけでなく、ソフト面を所管する「社会教育課」を記載しなくてよいのか。</p>	<p>取組 NO. 3 5</p> <p>方向性3</p>	<p>(取り組み名) 音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備</p> <p>(概要) 老朽化する文化ホールについて、音の響きを大事にし、誰もが利用しやすいように再整備します。</p> <p>(所管) 総合政策課</p>	<p>(取り組み名) 音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備</p> <p>(概要) 老朽化する文化ホールについて、音の響きを大事にし、誰もが利用しやすいように再整備します。</p> <p>(所管) 総合政策課 社会教育課</p>	<p>・運営面での所管は社会教育課であるため、誰もが利用しやすい施設となるよう再整備にソフト面で関わる必要がある。</p>
2	<p>*「フューチャーセンター」について</p> <p>NO. 4 5 「まちづくりや地域課題について話し合う場の提供」とあるが、プラッツ習志野のフューチャーセンターについて触れなくて良いか。</p>	<p>取組 NO. 4 5</p> <p>文化を活かす</p>	<p>(取り組み名) まちづくりや地域課題について話し合う場の提供</p> <p>(概要) 公民館の学習圏会議において、まちづくりや地域活動について話し合う機会をつくりま</p> <p>(所管) 公民館</p>	<p>(取り組み名) まちづくりや地域の魅力について話し合う場の提供</p> <p>(概要) 公民館の学習圏会議やプラッツ習志野のフューチャーセンターにおいて、まちづくりや地域の魅力と地域課題について話し合う機会をつくりま</p> <p>(所管) 公民館 社会教育課（プラッツ習志野）</p>	

(その他意見)

表現・言葉に関するもの…76件

グラフ・表・分析に関するもの…8件

体裁に関するもの…22件

その他…20件

(コロナウィルスの記載について2件、習志野市芸術文化協会について2件、文化財について2件、所管課に関する意見2件、習志野文化ホール・(公財)習志野文化ホールについて11件、等)

